

2024年度（令和6年度）南海福祉看護専門学校 事業報告

1. 運営事業の概要

名 称	南海福祉看護専門学校	南海福祉研究所
所 在 地	大阪府高石市千代田 6 丁目 12 番 53 号	
(1)教育理念		
創立以来「 人間（ひと）を大切に 」の教育理念を基盤として、学生一人ひとりが豊かな人間性を醸成しつつ高い専門性と的確な対応能力を培い、福祉、看護の各分野の充実に貢献し得る有能な人材として成長していくことを目的としている。		
(2)教育方針		
① 学生一人ひとりの個性を尊重し、生命の尊厳と個人の尊重を基盤とし、豊かな人間関係を醸成する。		
② 専門職業人としての責務を自覚し、日々研鑽、自己成長に努めることができる人材を養成する。		
③ 地域で学び、地域に学び、地域へ学びの還元をめざした地域密着型、還元型の教育を実践する。		
④ 信頼関係を基に、より高い専門性と科学的根拠に基づいた的確な技術を実践できる人材を養成する。		
(3)学生に望まれる要件		
① 勤勉であること		
② 人、物を大切にする心をもつこと		
③ すべての人に明るく対応できること		
④ 専門職業人として自律した行動をとること		
⑤ 公共心、協調性を身につけること		
⑥ 目的意識、向上心をもち、積極的であること		
(4)設置養成施設（取得資格）		
① 指定保育士養成施設	（保育士国家資格取得）	
② 介護福祉士養成施設	（介護福祉士国家試験受験資格）	
③ 社会福祉主事養成機関	（社会福祉主事任用資格）	
④ 社会福祉士養成施設通信課程	（社会福祉士国家試験受験資格）	
⑤ 看護師養成所	（看護師国家試験受験資格）	

(2) 事業概要

設立日 昭和43年3月13日

設置課程・学科・定員（2024年4月）

課程	学科	1年定員	2年定員	3年定員	計
専門課程	こども未来学科	80	80	—	160
	介護社会福祉科	60(25)	60(25)	—	120(50)
	看護学科	40	40	40	120
	① 本科生合計	180	180	40	400
府訓練	保育士養成コース	12	17	—	29
府訓練	介護福祉士養成コース	11	13	—	24
② 府訓練生合計		23	30		53
① + ②		203	210	40	453
社会福祉士養成通信課程		—			300

※()内数字は、内 介護・社会福祉士コース

(3) 施設の概要

敷地面積	2,826 m ²	図書室	1 室	蔵書 8,818 冊
建物面積	8,545 m ²		(保育・介護専門書)	1,887 冊
建物棟数	3 棟		(絵 本)	2,316 冊
普通教室	16 室		(一般図書)	1,830 冊
実 習 室	11 室		(看護学科図書)	2,785 冊
そ の 他	80 室		(専門雑誌)	32 冊

2. 事業目標及び課題

<目標>

- ・広報募集活動を組織的に機能させて入学者の増員を図る。
- ・専門性を活かした『多職種連携教育』を継続し、学科間の連携を深めた特色ある学校づくりをめざす。

<具体的な事業活動報告>

(1) 募集活動について

2024年度は、こども未来学科と介護社会福祉科80名（訓練生を除く）、看護学科40名、社会福祉士養成通信課程60名の入学者数を目標に掲げて取り組んだ。

こども未来学科の入学者増員に向けては、商業施設を活用しての学校説明会を実施したが効果を得るまでに至らなかった。

介護社会福祉科は、介護福祉士と共に社会福祉士の受験資格を短期間で取得できる魅力をパンフレットやSNS、ダイレクトメールでアピールしたが、来校者増員には至らなかった。

た。外国人留学生は2025年4月入学生までが「卒業と同時に介護福祉士（暫定資格）を取得」できる経過措置最終年であった。問い合わせは昨年よりも多く、入学者数も増加した。

3学科共通の特色として、当法人の高齢者施設職員や認定こども園の職員とともに学習を深めながら多職種連携教育を実施しており、他校にない介護、看護、保育の連携を前面に押しだした広報活動を実施した。

（2）退学・除籍者の防止

指導を要する学生には「就学状況報告書」を作成して、卒業までの支援を丁寧に実施したが退学者は前年より増加した。理由は実習が終了できないことが多く、要因は精神的なストレスであった。学力不振での退学もあるが、気力がなくなって不登校となり、進路変更に至る。心の病による退学防止は非常に難しいが、少しでもストレスが軽減するよう寄り添う関わりを行った。

（3）留学生の継続的な確保

2025年4月入学生の世代から外国人留学生の介護福祉士資格（暫定）の経過措置の最後の年となり、外国人個人や紹介業者からの問い合わせが増え、入学者も増加した。

（4）就職活動支援

各学科とも結果的に100%（就職希望者）の就職実績となるが、早期達成を目指し個別の支援を手厚くすることを欠かさず、全員が早期就職できる支援を行った。

（5）新型コロナウイルス感染予防の対策について

新型コロナウイルスの感染者は完全には無くなっていないが、マスク着用について学校内は個人の意思に委ねた。福祉や医療の現場である実習先では引き続きマスクの着用を実施した。その他、感染予防及び感染拡大防止のため、基本的な手洗いうがい、手指消毒、施設使用後の除菌清掃、換気等は継続した。

3. 会議、研修、行事等について

（1）運営会議

出席者：事業部長、学校長、副校長、科長、科長補佐、部長、副部長、事務長、事務課長

日時：原則 毎月第2・第4木曜日

議題：各部、各学科からの現況及び問題・課題についての報告

- ・防災訓練の日時、体制、実施内容を発表し、詳細を打ち合わせる。
- ・新型コロナウイルス、学生2名と教職員2名が陽性。対応感染拡大防止について確認する。
- ・退学防止のため、気になる学生の状況等を確認して教職員で共有する。

- ・多職種連携教育の実施について

(2) 職員会議

参 加 者：全教職員

日 時：原則 毎月第1木曜日

議 題：各部・各学科からの議案、連絡報告事項

- ・2023年度 事業活動収支報告
- ・2024年度研究助成制度についての説明
- ・スポーツ大会について、運営体制と競技内容について
- ・南専祭について
- ・2024年度卒業式、2025年度入学式の運営体制について

(3) 教育課程編成委員会

参 加 者：教育課程編成委員

議 題：教育課程について

日 時：原則 年2回

12月26日（木）15：30～17：00 zoom開催

- ・多職種連携について
- 課題や実施方法の検討

3月26日（水）10：00～11：30 zoom開催

- ・多職種連携について
- 実施後の振り返りや成果物について等

(4) 学校関係者評価委員会

参 加 者：学校関係者評価委員

議 題：学校教育活動の評価項目について

日 時：原則 年1回 6月11日（火）15：00～16：30 zoom開催

- ・教育理念・目標の評価について
- ・学校運営の評価について
- ・教育活動の評価について 等

(5) 自己点検・自己評価会議

参 加 者：事業部長、学校長、副校長、科長、科長補佐、部長、副部長、
事務長、事務課長

議 題：自己点検及び自己評価の項目

日 時：原則 年1回 3月27日（木）15：00～16：30

(6) 教員会議（学科単位で実施）

参 加 者：学科の構成教員

議 題：学科の運営事項、学生指導等

日 時：原則 週1回

(7) 事務室会議

参 加 者：事務室職員全員

議 題：運営会議の報告、各分掌の進捗確認

日 時：毎月最終月曜日

(8) 研修

ア．学外研修（現時点では未定）

研修名	開催日	場所	参加数	学科
日本災害看護学会	9 月		3	看護
日本看護学会学術集会	9 月		4	看護
全国児童養護問題研究会	6 月		1	こども
全国保育士養成セミナー	9 月	Web	2	こども
日本介護福祉教育学会	2～3 月	Web	2	介護

イ．学内教職員研修

研修名	開催日	場所	参加数	部署
実習指導について	8 月	本校	3	こども
児童文化財について	9 月	本校	4	こども

(9) 主たる行事

月 日	行 事
4 月 1 日	大阪府委託訓練入校式、入学式、新入生オリエンテーション
2 日	在校生オリエンテーション
4 日 5 日	新入生研修
22 日	防災訓練
5 月 1 日	健康診断
5 月 18 日	スポーツ大会
11 月 15～16 日	南専祭
12 月 23 日	宣誓式（看護学科）
3 月 3 日	看護学科 卒業証書授与式
21 日	こども未来学科、介護社会福祉科 卒業証書授与式
31 日	大阪府委託訓練修了式